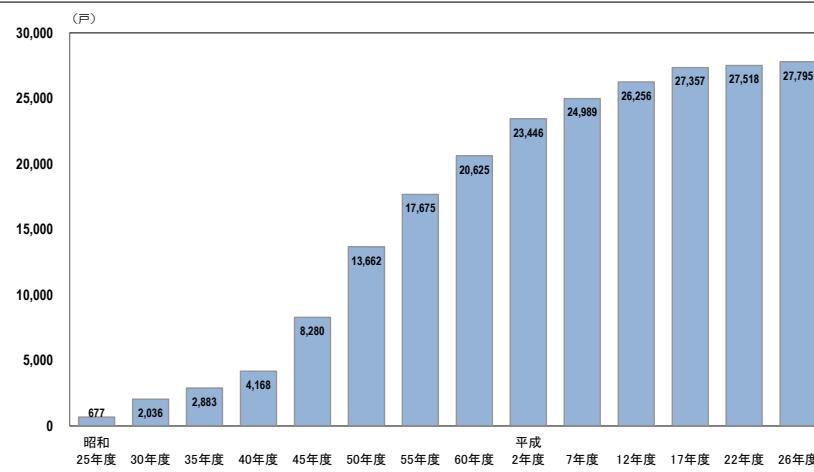


## 1. 市営住宅の供給状況

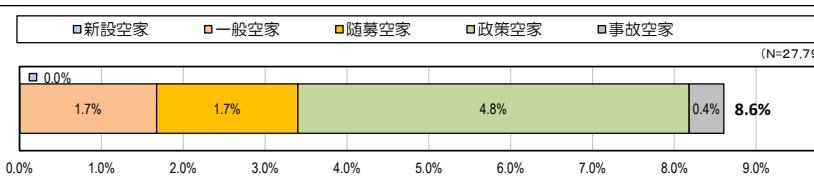
### (1) 管理戸数の推移

- 平成27年3月31日の管理戸数は27,795戸
- 昭和47年から20年間は年間800~1000戸で建設
- 近年の管理戸数は27,000~28,000戸程度を維持



### (2) 空き状況

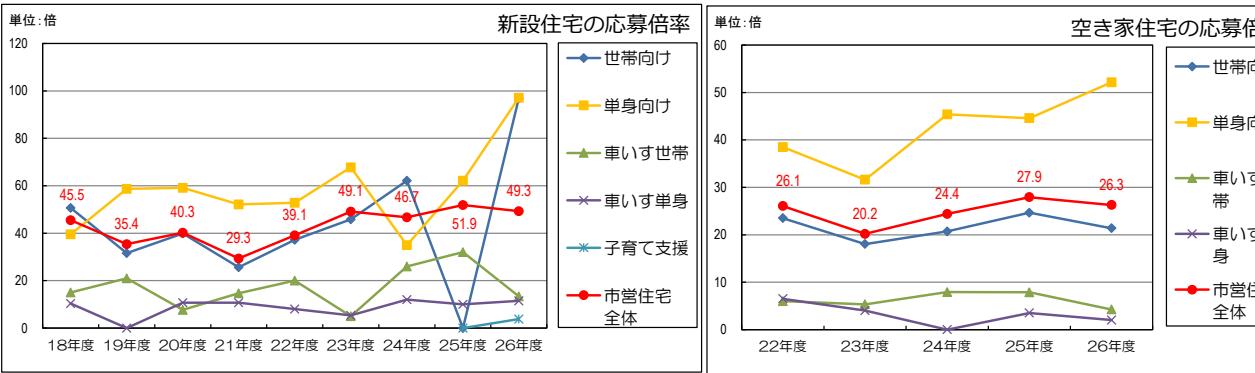
- 市営住宅全体の空き家率は8.6%
  - 政策空家※(建替え等を行うための空き家)が4.8%、一般空家と隨時募集空家(もみじ台団地の短期募集や通年募集など)が各1.7%、事故空家が0.4%
  - 空き家がない団地も多い中、郊外の大規模団地では空き家率が高い状況
- ※空き家率には、解体予定や市営住宅の建替え・大規模修繕に係る事業の住み替え用に確保している団地の空き家も含む



### (3) 応募倍率

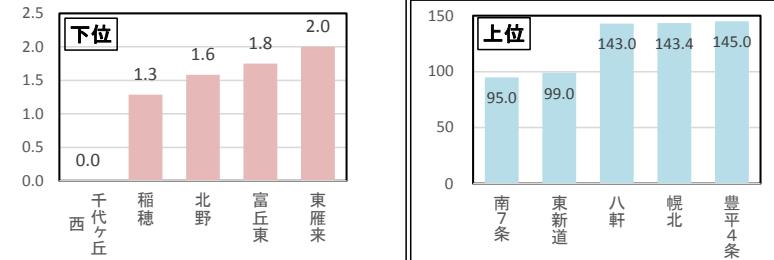
#### ①近年の推移

- 平成26年度の新設住宅の応募倍率は49.3倍であり、近年は45~50倍で推移
- 平成26年度の空き家住宅の応募倍率は26.3倍であり、近年は20~30倍で推移
- 平成27年度では、当選者の約20%が辞退



#### ②団地別の状況

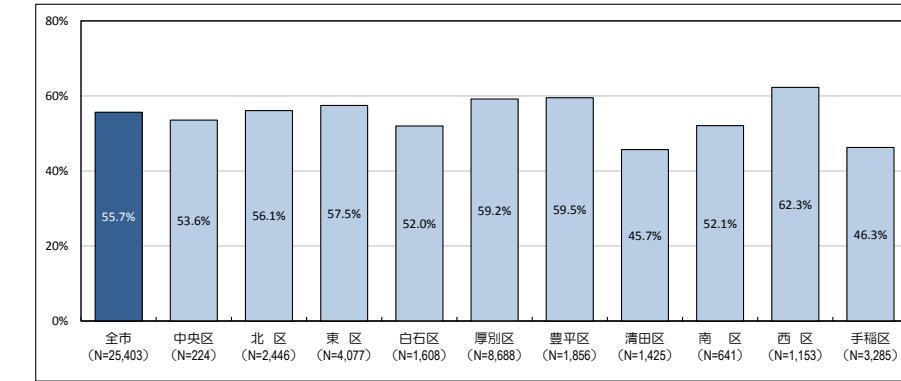
- 上位5団地は約100~150倍、下位5団地は0~2倍となり、団地による倍率の偏りが大きい



## 2. 入居者の状況

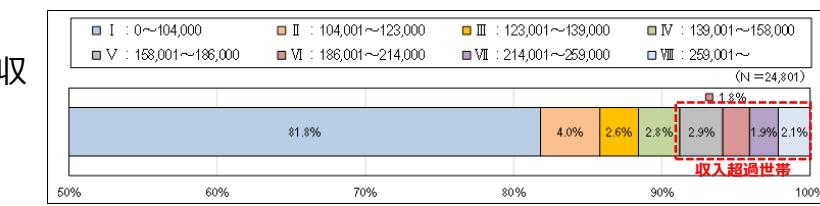
### (1) 高齢化

- 世帯主の年齢からみた65歳以上の入居者のいる高齢世帯は、全体の約6割
- 西区が62.3%と最も高く、次に豊平区が59.5%、厚別区が59.2%



### (2) 収入分位

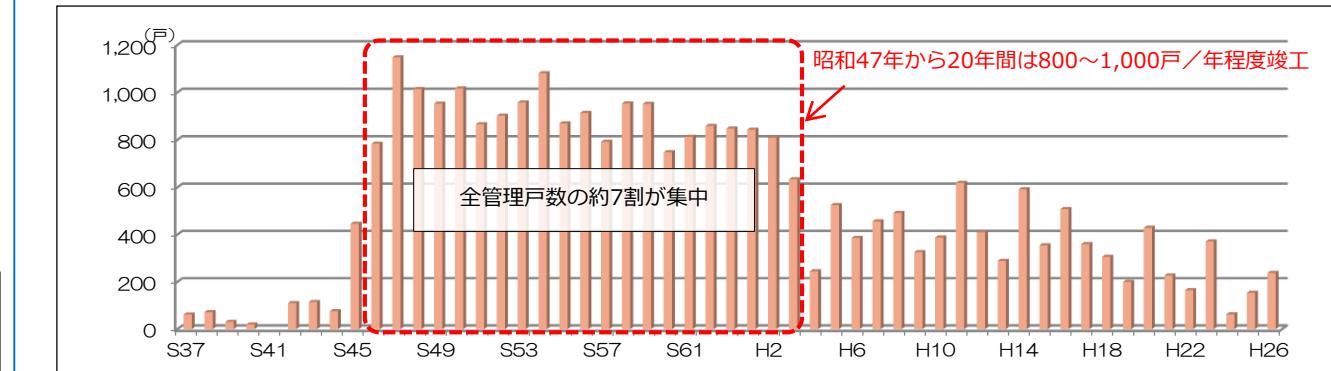
- 改良住宅を除く公営住宅では収入分位I(104,000円以下)の世帯が約8割、収入超過世帯は8.7%



## 3. 市営住宅の今後の整備について

### (1) 今後の建替対象戸数について

- 近年の建替戸数は概ね200戸/年
- 平成34年度より赤枠の住戸が順次竣工後50年を迎える状況



### (2) 今後の建替・改善費用

- 築年度に応じて800~1,000戸/年の建替を実施した場合、近年予算の4倍以上の年200億円を超える事業費が必要となるため、長寿命化や平準化の検討が求められる

